

M16Cシリーズ用Cコンパイラパッケージ ご使用上のお願い --スタートアップに関する注意事項

M16Cシリーズ用Cコンパイラパッケージの使用上の注意事項を連絡します。

- スタートアップファイルの使用について

1. 該当製品

M16Cシリーズ*用Cコンパイラパッケージ (M3T-NC30WA)
V.5.40 Release 00 および V.5.40 Release 00A

* M16C/60, /30, /20, /10, /TinyおよびR8C/Tinyシリーズの総称です。

2. 内容

統合開発環境High-performance Embedded Workshopが生成するC言語スタートアップファイルを使用して、far領域のセクションを初期化するとプログラムが暴走する場合があります。

3. 発生条件

far領域をマクロ関数scopy_f() または sclear_f()で初期化している場合に発生します。

4. 回避策

initsct.hファイルを以下のように修正してください。

- マクロ関数sclear_f()

```
#define sclear_f(X,Y)  _asm("  .initsct "X","Y"¥n"¥
                        "    push.w  #(sizeof "X")>>16¥n"¥
                        "    push.w  #(sizeof "X")&0ffffH¥n"¥
                        "    push.w  #(topof "X")>>16¥n"¥
                        "    push.w  #(topof "X")&0ffffH¥n"¥
```

```

"      .stk  8¥n"¥
"      .glb  _bzero¥n"¥  ----- (1)-1
"      .call _bzero,G¥n"¥ ----- (1)-2
"      jsr.a _bzero¥n"¥  ----- (1)-3
"      add.b  #8H,SP¥n"¥  ----- (2)-1
"      .stk  -8");      ----- (2)-2

```

- (1) (1)-1から(1)-3では、_bcopyを_bzeroに変更してください。
 (1)-3の末尾は、(2)-1へ続くため "); で終了せずに文字列連結をする ¥n"¥ に変更してください。
- (2) (2)-1では、スタックポインタの補正コードを追加してください。
 (2)-2では、スタック補正情報.stkを追加してください。

・マクロ関数scopy_f()

```

#define scopy_f(X,Y)  _asm("  .initsct "X","Y"¥n"¥
"      .initsct "X"I,rom"Y"¥n"¥
"      push.w  #(sizeof "X") >> 16¥n"¥
"      push.w  #(sizeof "X") & 0ffffH¥n"¥
"      push.w  #(topof "X") >> 16¥n"¥
"      push.w  #(topof "X") & 0ffffH¥n"¥
"      push.w  #(topof "X"I) >> 16¥n"¥
"      push.w  #(topof "X"I) & 0ffffH¥n"¥
"      .stk  12¥n"¥
"      .glb  _bcopy¥n"¥
"      .call  _bcopy,G¥n"¥
"      jsr.a  _bcopy¥n"¥  ----- (3)
"      add.b  #0cH,SP¥n"¥  ----- (4)-1
"      .stk  -12");      ----- (4)-2

```

- (3) (3)の末尾は、(4)-1へ続くため "); で終了せずに文字列連結をする ¥n"¥ に変更してください。
- (4) (4)-1では、スタックポインタの補正コードを追加してください。
 (4)-2では、スタック補正情報.stkを追加してください。

5. 恒久対策

V.5.42 Release 00以降では改修済みです。最新バージョンをご使用ください。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

